



署名式 (左: Ramla Khalidi UNDP Vietnam 常驻代表、右: 古田学長)

UNDP Vietnam との連携協力に関する覚書署名式を実施

2023年4月26日、United Nations Development Program Vietnam (UNDP Vietnam) と連携協力に関する覚書署名式を実施しました。本協定はサーキュラーエコノミー、気候変動、デジタルトランスフォーメーションなどの分野で活動を推進し「持続可能な開発」に貢献することを目的とし締結されました。

冒頭の挨拶で Ramla Khalidi, UNDP Vietnam 常驻代表は「ベトナムにおいて UNDP は (i) 持続可能な経済変革による繁栄の共有 (ii) 気候変動、災害復興、環境の持続可能性 (iii) ガバナンスと司法アクセスに関連する3つの成果を通じて SDGs の達成を支援しており、これらの活動をデータや科学的根拠に基づいて実施するためには日越大学のような確かな研究能力を持つアカデミアとの協力は非常に重要です。また、本協定の重要なキーワードは「多様性」です。日越大学の学生をはじめ、これからのベトナム社会を担う若い世代が、我々の協力活動を通じて、多様性の大切さを実感してくれたら嬉しく思います。」と述べました。また、古田学長は「日越大学は、ベトナム、日本、アジア、そして世界で活躍する専門家やリーダーを目指す国際的な質の高い人材を育成し、提供することを使命としています。この使命を達成するために、持続可能な開発という同じ目標を持つ UNDP Vietnam と協力できることは非常に素晴らしく、有益なことだと考えています。日越大学は質の高い人材を提供し、ベトナムだけでなく世界の発展に貢献していきたいと考えています。」と述べました。この覚書に基づき、両者が共通の目標に向かってより緊密に協力していくことで、ベトナムにおける持続可能な開発に貢献していきます。

今月号の内容

UNDP Vietnam との連携協力に関する覚書署名式を実施

三菱総合研究所連携セミナー「スタートアップとベンチャーキャピタル」を実施

「イオンセミナーシリーズ 2023」を実施

Real Voice
桃木至朗 先生

2023年入学出願受付中

- メカトロニクスと日本型ものづくりプログラム、中学校・高等学校での出張講義を実施
- デジタルマーケティング研修を実施

三菱総合研究所連携セミナー

「スタートアップとベンチャーキャピタル」を実施

2023年4月19日、三菱総合研究所との連携セミナー「スタートアップとベンチャーキャピタル」を実施しました。講師として登壇したのは勝又幹英氏（株式会社 INCJ 代表取締役社長）です。冒頭、Oanh 副学長が挨拶し、「スタートアップ、ベンチャーキャピタルの著名な専門家による講義は、日越大学の学生が、スタートアップのトレンドを理解し、より深い彼らの学びを促すと確信している」と述べました。講義では、「完全栄養食」の会社を起業し成功した元学生の実例を参照しつつ、どのようにビジネスプランを作成するのが紹介されました。また、ベンチャーキャピタルがスタートアップにおいてどのような役割を果たしているのかについての説明もありました。勝又氏のプレゼンテーションは示唆に富んでおり、起業やイノベーションに関心のある学生は、多くの知見を得ることができました。質疑応答では、「スタートアップをどのように持続的にすればよいのか」、「ビジネスアイデアはないけれど起業したい学生に助言を」、「ベンチャーキャピタルの動向」など、学生は活発に質問しました。勝又氏は、すべての質問に対して、自身の経験に基づきながら回答し、多くの実践的なアドバイスを学生に送りました。



勝又氏によるプレゼンテーション



満席の会場

「イオンセミナーシリーズ 2023」を実施

2023年4月から5月にかけて、学部日本学プログラム「3年次セミナー」の一環として「イオンセミナーシリーズ 2023」を実施しました。田中恒星管理本部長をはじめとするイオンベトナムのトップマネジメントに携わる方を講師として、学生たちは環境・GX（グリーントランスフォーメーション）戦略、小売業概論、人材育成、グループ経営・戦略の4つの講義を通じて、イオンのさまざまな側面について学びました。4月21日（金）の環境・GX戦略の講義では、学生たちはイオンの環境への取り組みやSDGsへの対応について深く学びました。5月5日（金）の小売業概論の講義は、コンビニエンスストアやディスカウントストアの変化を通じて小売業界のダイナミクスを学び、イオンの戦略的アプローチについて理解を深める機会となりました。さらに、5月12日（金）の人材育成の講義では、イオングループの人事理念や人材育成プログラムに関する事例を学びました。学生たちはイオンが持つ社会的な影響力やグローバルな人材育成戦略の重要性を実感しました。最後に、5月19日（金）のグループ経営・戦略の講義では、イオンの全体戦略とベトナム市場へのアプローチについて学びました。学生たちはアジアシフトやマルチフォーマット開発、デジタル化について、イオンの戦略をより深く理解しました。日越大学では、学生たちがビジネスの多様な側面についてより深く考え、リーダーシップを発揮するための基礎を築くことを目指しています。



田中恒星氏によるプレゼンテーション



学部日本学プログラム3年生たち



Real Voice

桃木 至朗 先生（学部運営・実施（文系分野））

今月号より日越大学に JICA 専門家として派遣されている先生方をご紹介します。第 1 回目はベトナム研究の第一人者で日越大学では学部運営・実施（文系分野）を担当されている桃木至朗先生から、先生の研究分野であるベトナム研究に興味を持たれたきっかけ、また日越大学での活動についてお話を伺いました。

-先生の研究分野について、また研究を志したきっかけについて教えてください。

ベトナム戦争の報道を通じてベトナムに関心をもち、大学・大学院時代は歴史学（東洋史）と東南アジア地域研究を学びました。それ以来、博士論文などの個人研究ではベトナム（大越）という国家が確立した 11～14 世紀の政治・社会とその国際的位置を扱う一方で、18～19 世紀の村落社会と家族・親族、タンロン遺跡などいろいろな共同研究にも参加してきました。たいいてい出版物やインターネットの情報はひどく不十分なのですが、それを上回るものを私に与えてくれたのが、現場を歩き回って下手なベトナム語で村人や現地の学者に尋ねながらローカルな史料を集め、そこで日本・朝鮮半島との意外な共通点に気づくなどの経験でした。



桃木至朗先生

-日越大学では専門家としてどのような活動をされていますか？

授業・研究指導では、日本の歴史と文化、地域研究における日越比較などを担当し、それらを東アジア・東南アジアの広域史やグローバルヒストリーのなかで考える、またジェンダーや環境など現代的な課題も普通に取り上げるなどの方法で、日本やベトナムの理解を深めさせることに努めています。漢字・漢文の素養の欠如、ゼミや読書会など学生が輪番で発表・討論する形式の授業や、複数の専攻の共通授業の習慣が根付いていないことなどの弱点を補うために、

学問論を中心としてことばと学問の OS を整える教養教育、歴史教育改革とそこでのグローバルスタディーズと地域研究の統合など、日本の大学で長年かかかわった仕事の経験を活かしたいと考えています。



学部日本学プログラムでの講義

-日越大学で学びたいと思っている方へメッセージをお願いします。

長い戦争などのため、かつてはベトナム国内でも海外でも、ベトナム社会の深い研究は困難でした。最近の進歩は急速ですが、まだグローバルな課題の比較研究でベトナムが空白になっている領域は多いです。日本でもベトナム専門家がずいぶん増えましたが、在留外国人の数でベトナム人が第二位を占める状況には、大学も自治体・地域も全然追いついていません。他方で、東南アジアや漢字文化圏の理解を広げ、「アジアのなかで日本をとらえ直す」のにぴったりな比較研究のテーマは、漢字の受け入れ方、家族・ジェンダーと村社会、農業経済と労働力移動、ポピュラーカルチャーなどなど目白押しです。今がベトナム研究のチャンスでしょう。

日越大学には以下のようなプログラムがあります。

■ 修士課程 地域研究プログラム（日本研究/ベトナム研究）

<https://vju.ac.vn/area-studies-pdde1.html>

■ 学部 日本学プログラム

<https://vju.ac.vn/bachelor-programs/japanese-studies-ste101.html>

日越大学で学んでみたい方はこちら↓

<http://admission.vju.ac.vn/en/homepage/>

2023 年出願受付中

日越大学では、2023 年出願を受付中です。出願締切、面接試験は以下の日程となります。

学部（第 3 回）出願締切 6 月 3 日 面接試験 6 月 10 日、11 日	大学院（第 2 回）出願締切 7 月 31 日 面接試験 8 月 5 日、6 日
---	---

入試情報は日越大学ホームページ（英語）をご参照下さい。<http://admission.vju.ac.vn/en/homepage/>

日越大学では高校訪問、進学フェアへの出展、出張授業など、様々な広報活動を実施しています。今月号では、中学校・高等学校での出張授業の様子、職員能力強化の一環として実施したデジタルマーケティング研修の活動について紹介します。

■メカトロニクスと日本型ものづくりプログラム、中学校・高等学校での出張講義を実施（5 月 13 日、5 月 17 日、5 月 19 日）

日越大学は、ハノイ市内の高校 2 校（Kim Lien 高校、Viet Duc 高校）、中学校 1 校（CVA 中学校）の日本語学習者を対象に「日本型ものづくり」のオープンレクチャーを行いました。講師として登壇したのは、今年の秋に新設する「メカトロニクスと日本型ものづくり」プログラムの Thang 講師と同プログラムを支援する大阪大学の榎本教授です。二人が強調したのは、「ものづくり」は単なる製品の製造ではなく、企画から研究・開発、加工、組み立て、販売までの一貫したプロセスであることです。学生たちは大学の教員による授業を興味深そうに聞いており、日越大学にも関心を持った様子でした。



Thang 先生の講義



CVA 中学校生徒と日越大学教職員

■デジタルマーケティング研修を実施（4 月 12 日、21 日、27 日、5 月 12 日）

日越大学職員の能力強化の取り組みとして、4 月～5 月にかけて計 4 回、デジタルマーケティング研修を実施しました。マーケティングファネルといった基礎的なことから、Google 広告、Facebook 広告の具体的な運用等について学ぶ貴重な機会となりました。次回は、インナーブランディング、SEO 対策の研修を予定しています。

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/en>

日越大学 Facebook

（ベトナム語）<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

（日本語）<https://www.facebook.com/VJUJp/>

JICA プロジェクトページ

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/index.html>

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部（担当：川口）

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記お問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学 教育・研究・運営能力向上プロジェクト